

【平成15年度 専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	バイオ系実験従事職種への転換プログラム開発とその実証
学校法人名	財団法人 大阪医療技術学園
学校名	大阪医療技術専門学校
代表者	理事長 浮舟 邦彦
<p><事業の概要></p> <p>バイオテクノロジーの発展に伴う、実験系人材不足に対応した職種転換のためのプログラムを開発した。これによって短期間で必要なスキルを身に付けられるように、実践的でかつ効率よく学習できる教育プログラムを提供している。またこのプログラムの評価を行うために、バイオ系の学生だけでなく、バイオを専門領域としていない受講生を被験者として実験研修を行った。</p> <p><成果></p> <p>近年のバイオテクノロジー産業の発展によって、良質な実験系人材を数多く必要とする状況になってきている。しかしながら、これらの人材を輩出している関連学科の定員数は極力限定的で、しかも、これらの卒業生は基本的で補助的な実験操作を行う職種への指向性は少ないだけに、人材供給に大きなネックがある状況が続いている。</p> <p>このような背景を考慮して、大学・専門学校を卒業した未就職者や離職者などの社会人を対象として、最適なカリキュラムにて実験補助職の業務に転換させることのできるプログラムを構築した。</p> <p>本教育プログラムは、概要は次のとおりである。</p> <p>1. バイオ実験技術</p> <p>バイオ分野で必要となる専門的知識と、それに関連した実験技術を効率的に学習できるように開発されている。このことにより、実験に必要な専門知識の学習や、専門知識毎に関連した実験スキルを一元化された教材で学習することができ、バイオ分野を専門領域としていない受講者でも、体系的かつ項目別に学習することが可能となっている。</p> <p>2. バイオ統計解析 IT 実習</p> <p>統計の専門理論を習得していない受講者でも、実験データの統計処理ができるように開発されている。パソコンの表計算用アプリケーションを活用して実験データの統計処理を学習・演習する構成となっており、実験データを扱う可能性が高い技術者にとって実践的な学習を行うことができる。</p> <p>3. 実験研修</p> <p>バイオを専門領域としていない受講生を被験者として実験研修を行った。実験講座の実施により、教材の内容および実験研修の手法が効果的であることが実証できた。</p>	